

書面決議報告書

令和4年度新座市青少年問題協議会（書面決議）について、下記のとおり報告します。（対象数：18名）

1 令和5年度以降の運営方針（案）について

承認 15名・不承認 0名・未提出 3名

2 頂いた御意見

- ・テーマについては、抽象的であるよりも限定した方が具体例など出しながら協議ができるのではないかと思う。
- ・具申内容を設定し、協議内容を具体的に設定し話し合うのが良いと思います。
- ・これまで具申した内容が市政に反映されにくいことは大変残念に思っていましたので、改善策が提案されたことはよかったです。ただ、令和5年度以降の協議会の目的が今までと異なるのでその経緯など説明が必要だと思えます。
- ・目的が市長への具申書提出から、議事録を所管課や関係団体等に報告することになったが、理由を教えてください。

3 事務局からの回答

本協議会は、青少年関連団体の皆様に幅広く御協力いただき運営してまいりましたが、具申書の作成に2年間の時間を要するのに対し、その内容が市政に反映されにくいといった課題がありました。

急速に進行する少子化、ICT技術の進展等、青少年を取り巻く社会情勢が刻々と変化する中で、青少年問題を的確に捉え協議し、それを施策に反映させるためには、具申書の形式にとらわれず、関係機関へ迅速に協議結果を情報提供することが有効であると考え、運営方法の見直しを行うことといたしました。

運営方法について様々な御意見があるかと存じますが、青少年に関する問題を協議し、それを施策に反映させるといった本協議会の目的自体に変更はございませんので、令和5年度以降の協議会においても、忌憚のない御意見を賜りますようお願い申し上げます。